

1. 制度上の位置付け(1):学校教育法及び社会教育法の一部改正(H13年改正 ※直近の改正はH19年改正)

①学校教育法の一部改正

・小・中・高等学校におけるボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動等の体験活動の充実

小学校、中学校、高等学校等において、ボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動等の体験活動の充実に努めるものとともに、社会教育関係団体等の関係団体、関係機関との連携に十分配慮するものとする。(第31条関係、高等学校は第62条で準用)

②社会教育法の一部改正

・ボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動等の体験活動の促進

青少年にボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動等の体験活動の機会を提供する事業の実施及び奨励の事務を教育委員会の事務として明記する。(第5条第14号関係)

・社会教育と学校教育との連携

国及び地方公共団体が社会教育行政を進めるに当たって、学校教育との連携の確保に努めるとともに、家庭教育の向上に資することとなるよう必要な配慮を行う旨を規定する。(第3条第3項関係)

2. 制度上の位置付け(2):『高等学校学習指導要領』における「介護等体験」に関する記述①

【総則】

第1章 総則 第5款 教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項

(14) (前略)高等学校間や中学校、特別支援学校及び大学などとの間の連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒などとの交流及び共同学習や**高齢者などとの交流の機会を設けること。**

【家庭】

第2章 各学科に共通する各教科 第9節 家庭(第2款 各科目 第1 家庭基礎)

2 内容 (1)人の一生と家族・家庭及び福祉

人の一生を生涯発達の視点でとらえ、(略)、子どもと**高齢者の生活と福祉について考えさせ、共に支え合って生活することの重要性について認識させる。**

ウ 高齢期の生活

高齢期の特徴と生活及び高齢社会の現状と課題について理解させ、高齢者の自立生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割について認識させる。

3 内容の取扱い

イ 内容の(1)のイ及びウについては、学校や地域の実態等に応じて、学校、家庭クラブ活動等との連携を図り、乳幼児や**高齢者との触れ合いや交流などの実践的な活動を取り入れるよう努めること。**

高校における介護体験推進②

2. 制度上の位置付け(2):『高等学校学習指導要領』における介護体験等に関する記述②

【総合的な学習の時間】

第4章 総合的な学習の時間 第3 指導計画の作成と内容の取扱い

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(5) 学習活動については、地域や学校の特色、生徒の特性等に応じて、例えば(略)福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、(略)などを行うこと。

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(3) 自然体験や就業体験活動、ボランティア活動などの社会体験、(略)などの学習活動を積極的に取り入れること。

【特別活動】

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

[学校行事] 2 内容 (5) 勤労生産・奉仕的行事

勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、就業体験などの職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

(3) [学校行事]については、(略)実施に当たっては、幼児、高齢者、障害のある人々などとの触れ合い、自然体験や社会体験などの体験活動を充実するとともに、体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動を充実するよう工夫すること。

3. 高等学校における体験活動の実施状況

体験活動の項目	時間
ボランティアなど社会奉仕に関わる体験活動 (町内や海岸の清掃、地域環境整備・美化活動、社会福祉施設の訪問、その他のボランティア活動など)	2. 3
勤労生産及び職場・職業・就業等に関わる体験活動	36. 6
交流に関わる体験活動 (幼児、高齢者、障害者、外国人、異なる地域の人々等との交流活動)	2. 7
学校における体験活動の総単位時間	41. 6

資料出所:平成20年度抽出調査(文部科学省)

(注1)調査対象校:高等学校 188校 (注2)数字は、高等学校2年生の1年間で実施する体験活動の総単位時間の平均

4. 事例

E県O高等学校の例

【活動内容】

地域の特別養護老人ホームを訪問し、食事の介助を実施する。

【実施学年】

1学年

【教育課程上の位置付け】

家庭総合

【効果】

介護におけるコミュニケーションの重要性について認識を深める。

I県T高等学校の例

【活動内容】

地域の福祉施設を訪問し、介護体験を実施する。

【実施学年】

1学年

【教育課程上の位置付け】

総合的な学習の時間

【効果】

将来への意識付けを促し、社会人としてのマナーや接し方を学ぶ。

5. 今後の論点

○ 高校における介護体験の取組について、さらに推進するためには、どのような事項が必要か。